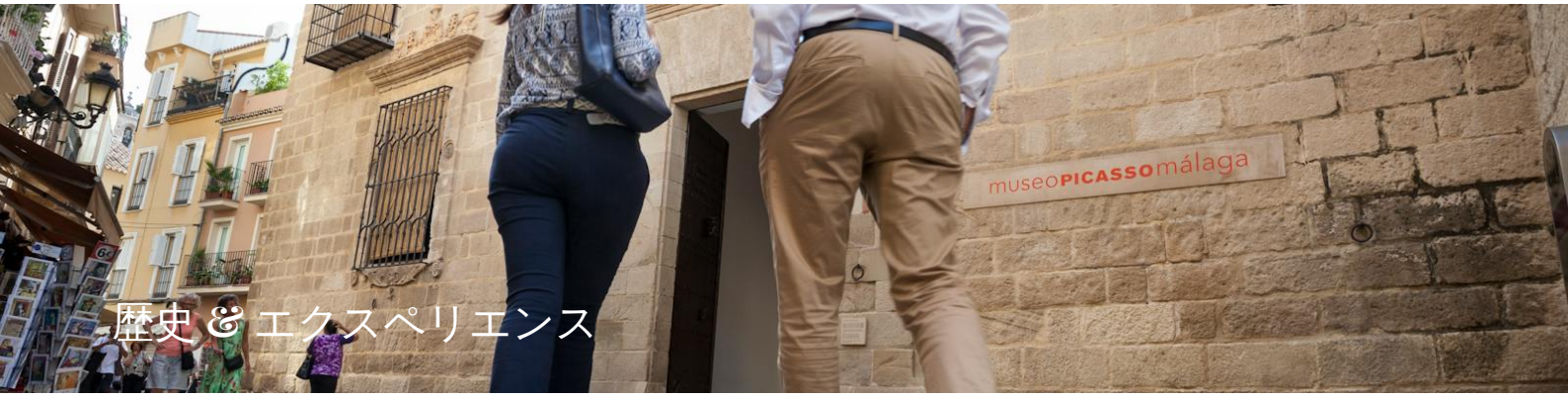


訪問ガイド 2026

マラガ・ピカソ美術館

マラガ · から 13€

https://museopicassomalaga.visit-tickets.com/ja/ · 優先入場チケット & 料金



歴史 & エクスペリエンス

起源 & 歴史

マラガで原点回帰

GOOGLE 4.3 ★★★★☆ 37 970 レビュー

TIQETS 4.4 ★★★★☆ 3 217 レビュー

マラガ・ピカソ美術館は単なる美術館にとどまらず、1881年にこの地で生まれたアーティストの原点回帰の場である。 パリやマドリードの大手機関とは異なり、このコレクションは画家がアンダルシアからパリへ亡命する前の初期の歩みをたどる、独自の伝記的な親密さを提供しています。 これらの宝を収蔵する建物は、16世紀の歴史的記念物であるブエナビスタ宮殿であり、アンダルシアの民間建築の証左となっています。 ピカソ美術館の起源は、ピカソ一族と切り離すことができない。 2003年、アルミーネ・イ・ベルナール・ルイス＝ピカソ財団とアンダルシア州自治政府の主導により、この宮殿は改装され、パブロの娘婿クリスティーナ・ルイス＝ピカソからの寄贈品を収蔵するために整備された。 この初期の寄贈である**133**点の作品に、その息子ベルナールによる寄贈が加わったことで、コレクションのかけがえのない核を形成しています。 目標は明確であった：アーティストの幼少期から晩年までのスタイルの変遷を、一般に広く公開すること。 建築的介入は、サイトの一体性を保ちつつ体験を近代化するために極めて重要であった。 アメリカの建築事務所グルックマン・メイナー・アーキテクツは、宮殿の元の構造を損なうことなく、現代的な空間を追加するよう慎重な改修工事を実施した。 このアプローチにより、古代の石と現代アートとの間に魅惑的な視覚的緊張が生まれ、常設展示品である**204**点にとって理想的な枠組みを提供した。 現在、この博物館は年間約63万5,000人の来場者を記録し、世界的な権威として確立されています。 彼は単に展示するだけでなく、一つの人生を語っている。 ピカソに特化した800巻の図書館と、現代美術に関する12,000点の資料の存在は、研究センターおよび生きた記憶の拠点としての使命を強化し、マラガを世界美術史に確固たる位置づけを与えるものである。

体験

サン・アグスティン通りにある内庭の敷地を跨ぐと、時間が止まったかのような感覚に包まれます。 地中海の静謐な雰囲気に瞬時に包み込まれ、噴水のはすかな音とアーケードを透過する自然光が、隣接する展示室の知的密度と鮮やかな対比を生み出します。 ここから、アンダルシアの過去とピカソの激進的な現代性との対話が幕を開ける。 廊を進むにつれ、訪問の物語的な進行を感じ取ることができます。 各展示室は単なる展示空間ではなく、アーティストの人生の一編である。 舞台演出は驚くべき流暢さで視線を導き、幼少期の地元の影響がその普遍的な天才性をどのように形作ったかを理解できるようにします。 中庭の清涼な空気は、キュビズム作品群の強烈な世界に没入する前に、心地よい一息をくれる。



訪問の準備

実用的な情報

住所
旧市街 · Palacio de Buenavistaの内庭からメインエントランスへ、Calle San Agustín, 8。

開館時間
毎日10:00〜18:00まで開館しています。ヨーロッパの美術館としては珍しく、月曜日も休まず開館しています。

料金
通常入場料は13€前後です。特別展の内容によって料金が異なります。

所要時間
最低でも2時間〜2時間30分を見込んでください。常設コレクションの密度と伝記的な展示構成により、じっくり鑑賞する時間が必要です。

写真撮影
フラッシュなしでの撮影が可能です。16世紀のアンダルシア建築と現代作品の対比を捉えるのに最適です。

対象者
アートや歴史愛好家の方に最適です。抽象画の複雑さから、6歳未満のお子様にはおすすめしません。

アクセス方法

アクセス & 交通手段

地下鉄
: Alameda Principal — 7 min à pied
マラガ・コスタ・デル・ソル空港 地下鉄または駅 (26 min) · Malaga Centro Alameda 駅 (8 min)

バス
: Parque - Rectorado — 4 min à pied
マラガ・コスタデルソル空港の地下鉄または駅 (42 min) · Malaga Centro Alameda駅 (11 min)

車
マラガ・コスタデルソル空港の地下鉄または駅 (31 min) · Malaga Centro Alameda駅 (6 min)

自転車
マラガ・コスタデルソル空港の地下鉄または駅 (41 min) · Malaga Centro Alameda駅 (6 min)

LOCALISATION

Où se trouve マラガ・ピカソ美術館 ?



📍 Palacio de Buenavista, Calle San Agustín, 8 — 29015 マラガ

🌐 36°43.304′ N, 4°25.106′ O



組織

体系的な伝記コース

1階（中庭とエントランス）

ここから体験が始まります。サン・アグスティン通りから直接内部の中庭へアクセスできます。この中央空間は噴水や緑で飾られており、賑やかな街並みとギャラリーの静けさの間を和やかに繋ぐ役割を果たしています。展示室に入る前に、建物の地理的および歴史的な位置づけを理解するための場となっています。

中層（常設展示室）

アンドラシア風階段で結ばれた複数の階にわたって配置され、これらのフロアには常設コレクションの核心が収蔵されています。展示室は厳格な年代順に従い、マラガでのピカソの幼少期からキュビズム期および晩年期に至るまでを網羅しています。家族からの主要な寄贈品である絵画、彫刻、陶磁器などが含まれており、彼の進化の各段階を際立たせるよう、細部まで配慮された展示構成で紹介されています。

附属スペースと図書館

博物館には、資料閲覧や研究に特化したスペースも併設されています。ピカソに関する800冊の書籍と現代美術関連の12,000点の資料を収蔵する専門図書館は、愛好家にとって貴重なリソースとなっています。これらのエリアでは、メインギャラリーで鑑賞した作品への理解を深めることができ、訪問を学術的な雰囲気で締めくくる場を提供しています。

アクセシビリティ

♿ 車椅子アクセス

歴史的建築のため部分的なバリアフリー対応；フロアごとのエレベーターを確認してください。

👨‍👩‍👧 ファミリー向け

作品を適切に理解するため、6歳以上の方におすすめです。

🎧 オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語, ドイツ語, イタリア語



必見スポット

選択

コレクションの見どころ

01 PABLO PICASSO 青春の間

青の時代の素描

このセクションは、ピカソのキャリア初期に制作された作品をまとめています。これらの作品は、憂鬱な色彩パレットで特徴づけられています。線の早期の習得と深い感受性の表現を観察することができます。これらの作品は、マラガで受けた美術教育の直接的な影響を証言しています。

> 💡 これらの素描の多くは、直接家族のアーカイブから由来しており、世界的な名声を得る前のアーティストの私生活への希少なアクセスを提供しています。

02 PABLO PICASSO 彫刻ギャラリー

木彫りとブロンズ彫刻

ピカソは、彫刻を絵画と同じくらい生命に満ちた表現手段と見ていた。このセレクションでは、木材からブロンズまで多様な素材を用い、人体の表現を探求した作品を紹介している。素材の質感と形態の力強さは、その直感的な迫力で来訪者を打ち抜く。

> 💡 ピカソの彫刻アトリエはしばしば創造的な粗暴さの場であり、彼は事前の模型なしに直接素材を削って彫刻していた。この自由な形態からは、そうした手法がうかがえる。

03 PABLO PICASSO 版画室

ロワイヤンノート

このノートには、アーティストにとって重要な滞在期間中に制作された36点の素描が含まれています。ピカソが新しい版画技法を模索していた、図版制作の非常に生産的な時期を示しています。線の精密さと一部のページに見られるジェスチャーのエネルギーとの対比は、彼の創造プロセスの二面性を明らかにしています。

> 💡 このノートは、1950年代における彼の図版スタイルの変遷を理解するための基礎的な文書とされています。

04 PABLO PICASSO 陶芸ギャラリー

ヴォローリスの陶磁器

ヴォローリスのアトリエとのコラボレーションから生まれたこれらの陶磁器は、ピカソの作品における遊び心と色彩豊かな一面を示しています。それらは、彼の視覚言語を実用的な物体に適応させる能力を実証しています。女性像から神話的な場面に至るまで、モチーフの多様性は魅力的なバリエーションを提供します。

> 💡 ピカソは数千点の一点物を作成しましたが、完全に保存されたものはごくわずかです；これらは、家族によって保存されている希少な品々の一部です。

05 PABLO PICASSO 現代の展示室

キュビズム期の絵画

このセクションは、ピカソとブラスクが始めた形式革命を扱っています。ここでは、視点の断片化や古典的な主題の解体が見られます。これらのキャンバスは、近代芸術が19世紀のアカデミックな伝統からどのように決別したかを理解するために不可欠です。

> 💡 これらの作品の一部は、再利用されたキャンバスに描かれており、これは画家のパリ滞在期間中の創造的倹約を示すものです。

06 PABLO PICASSO グラフィック作品室

版画とリトグラフ

コレクションにはピカソの技術的多面性を示す58点の版画とリトグラフが含まれています。これらの作品は、画像複製の機械的プロセスに対する彼の熱中を物語っています。インクの黒さとハッチングの細やかさは、強烈な視覚体験を提供します。

> 💡 ピカソはしばしば自身の肖像画を版画のモデルとして使用し、非常に個人的な自画像シリーズを創り出しました。

07 PABLO PICASSO 最終展示室

晩年の作品

最後の展示室には、アーティストの人生の晩年に制作された作品が展示されています。色彩と形態の選択における新たなエネルギーと完全な自由さが感じられます。これらの作品は、強い感情的強度をもって伝記的な経路を締めくくります。

> 💡 これらの作品はしばしば急いで制作され、時には病床の上でさえ描かれ、高齢のアーティストの存在的不安を反映しています。

08 文書スペース

ベルナルド・ソフォヴィッチ図書館

厳密な意味での芸術作品ではないものの、この図書館は博物館の柱の一つです。ピカソに関する専門書籍800冊と現代美術の資料12,000点を収蔵しています。知的な contemplation の場であり、展示室の鑑賞を大きく豊かにします。

> 💡 この文書コレクションは、専門家によって慎重に構築され、ピカソの思想の完全な地図を提供するために作られました。

アドバイス

訪問をうまく準備する

タイミング

コレクションの豊富さを存分に楽しむには、最低でも2時間30分を確保してください。開館時間は季節によって異なります（18時または20時まで）。そのため、スケジュールをそれに合わせて調整してください。

チケット

オンライン予約は強く推奨されます。特に「ムンクとピカソ」のような期間限定展の場合です。通常チケットは約13ユーロで、デジタルオーディオガイドが含まれていることがよくあります。

見学ルート

ミュージウムが提案する伝記的年表に従ってください。マラガでの幼少期から始めることで、キュビズム期や晩年への移行前に、地元の影響をより深く理解することができます。

写真

フラッシュなしで撮影し、16世紀のアンダルシア建築と現代アートの対比を捉えましょう。内庭は雰囲気のある写真を撮るのに最適なスポットです。

休憩

近隣のサン・アグスティン・カフェで休憩をとるか、博物館の中庭を楽しんでください。噴水の音と緑が、展示室の合間に心地よい感覚的な休息をもたらします。

子ども

この美術館は6歳以上の方におすすめです。より小さいお子様には、複雑な絵画よりも具体的で抽象的でない陶磁器や彫刻の展示室を優先的にご覧いただくことをお勧めします。

オーディオガイド

オーディオガイド（多くの場合、Webアプリを通じて提供されます）を使用して、伝記的なナレーションを追跡してください。キュビズムなどの様式化された時代をテーマにした展示室では、歴史的参照を解読するために特に役立ちます。

快適さ

館内には複数の階と、時には狭いアンダルシア風の階段があるため、履きやすい靴をおすすめします。移動をスムーズにするために、大きなバッグは無料のクロークに預けてください。



よくある質問

よくある質問

事前予約は本当に必要ですか？

常設コレクションは窓口で購入できることが多いですが、Munch-Picassoなどの特別展では事前予約を強く推奨します。これにより、繁忙期の長い行列を避けることができます。できるだけ早く日時を確保することをお勧めします。

チケットはキャンセルできますか？

このチケットは予約確定後、キャンセル・返金できません。支払い前に日付、時間帯、参加人数をよくご確認ください。その後変更はできません。

現在プロモーションはありますか？

プロモーションは開催中のイベントやファミリープランに依存します。最新のオファーを確認するために料金セクションを定期的にチェックしてください。年齢に応じて子供用チケットが無料になることが多く、滞在費用を削減できます。

予約なしで訪問できますか？

はい、常設コレクションであれば、サイトが「ticket only」と表示していない限り直接入場可能です。ただし、特別展では入場を保証し、失望を避けるために事前予約を強くお勧めします。

見学にはどのくらい時間がかかりますか？

完全な見学には2時間〜2時間30分かかります。展示はマラガでの幼少期からピカソの人生を追跡しており、集中力が必要です。ショップやカフェ、宮殿の階段にも時間を確保してください。

ご存知ですか？

エピソード＆トリビア

家族の遺産から生まれたコレクション

ミュージアの核心は、パブロの娘婿であるクリスティーヌ・ルイス＝ピカソからの寄贈品にあります。彼女の133点の作品の寄贈と、その息子ベルナールによる追加の寄贈により、一貫性のあるコレクションが形成されました。この家族的な由来は、多くの美術館が主張できることのない、作品に親密な真実性を付与しています。

アメリカの介入

ブエナビスタ宮殿のリノベーションは、アメリカの建築事務所Gluckman Mayner Architectsに委託された。彼らの仕事は、16世紀の歴史的構造の中に控えめな現代的要素を組み込むことだった。この古と新の融合が、この場所の建築的シグネチャーとなった。

図書館の役割

作品を超えて、この美術館はピカソに関する800冊の書籍を含むベルナルド・ソフォヴィッチコレクションを収蔵しています。この文書資料群は、他の現代美術関連資料12,000点とともに、この美術館をアーティストに特化した真の研究センターへと変貌させています。

月曜日の閉館がないこと

ヨーロッパの美術館としては異例ですが、マラガ・ピカソ美術館は月曜日を含む毎週毎日開館しています。この方針により、観光客の訪問計画が大幅に容易になり、週末に集中する行列を回避できます。

博物館周辺

歴史的な中心地の中心部に位置するこの博物館は、例のない環境に恵まれています。 すぐそばには、マラガ大聖堂とアルカサバがあり、印象的なバロック様式と中世の建築パノラマを呈しています。 知的な努力を伴う展示室での鑑賞の後、心身ともにリフレッシュできるひとときを提供するため、サン・アグスティン・カフェでは、中庭に面した場所で本格的な地中海料理をお楽しみいただけます。 文学愛好者は、専門書が豊富に揃っている博物館のショップに立ち寄ることもできます。 最後に、1日の滞在を延長されたい場合は、ラ・マラグエタのビーチやピカソが晩年を過ごした芸術地区ソホ・マラガが徒歩圏内にあり、このアンダルシア文化体験を完璧に補完します。



マラガ・ピカソ美術館を訪れることは、スペインの天才というプリズムを通して、アンダルシアの魂に直接触れることにほかならない。 絵画を鑑賞するだけではありません。それは、稀有な深みを持つ家族の物語と芸術的な体験を生きることです。 20世紀の芸術を再定義した人物の足跡を、その人物が生まれた街で直接たどったという、かけがえのない感覚を胸に抱いてお帰りください。